

科目	レクリエーション基礎実習 I	担当	横井 康博	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

本授業で行うレクリエーションスポーツは、統ルールにこだわることなく、プレーヤーの都合やレベルに合わせた特別ルールを履修者全員で考えながら展開する。つまりスポーツにヒトが合わせるのではなく、スポーツがヒトに合わせるのである。

そこで本授業では、スポーツは「こうあるべき」という枠組みをはずして授業展開することが目標である。

【履修注意】

それぞれが指導者・リーダーのつもりで授業参加する意気込みで行う。

基本的には、全出席が条件。スポーツマネジメントコースの学生は、必修。他コースの学生は、履修できない。

【評価方法】

出席点80%、実習レポート20%で評価する。

【試験について】

実習全般の取り組みを総合的に判断するため、実技試験は行わない。

再試験対象者の条件： 行わない。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

必要に応じて資料配布。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	レクリエーションやニュースポーツ、軽スポーツの理解
2	レクリエーションの基礎的理解	レクリエーションについての基礎理論
3	フライングディスクⅠ	フライングディスクの紹介、スロー&キャッチ
4	フライングディスクⅡ	ディスクゴルフ、ガッツ、アルティメットなど
5	ソフトバレーボール	バレーボールとの相違について
6	レクリエーションバレーボール	バレー系統のスポーツを楽しむ方法
7	インディアカ	バレー系のニュースポーツ種目
8	ハーフトennis	テニスを楽しむための導入種目
9	バウンドテニス	テニス系のニュースポーツ
10	キックベースボール	野球とサッカーの要素をミックスしたニュースポーツ
11	フラッグフットボール	老若男女が可能なフットボール系ニュースポーツ
12	バドミントン	レクリエーションとしてのバドミントン
13	ターゲットバードゴルフ	ゴルフ系のニュースポーツ種目
14	ペタンク	ターゲット系のニュースポーツ
15	まとめ	ニュースポーツの紹介
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ